



ひのでたより

ひので保育園

令和4年7月1日

梅雨が明け、容赦なく照り付ける太陽が夏の訪れを感じさせてくれます。

短い梅雨でしたが雨上がりの自然を見たり、雨の音や匂いを感じたり、梅雨の時期の楽しみ方を子どもたちと共感しました。これからはいよいよプールや色水遊び・洗濯ごっこなどの水遊びが始まります。安全に十分に配慮し楽しみたいと思います。



「食の大切さ」を伝える取り組み

ひので保育園では一年を通して「食の大切さ」を伝える＝食育に取り組んでいます。

この時期は梅干しの仕込みや梅ジュース作り、夏野菜・サツマイモの苗植えなど様々な食育を行いました。



熱い視線の先には……



梅ジュース！

作り方、育て方を、目で見て、触って、匂いを感じて…こうした経験を通して食べ物への関心、大切に作る心が育つと嬉しいです。



紫蘇ちぎり



梅干しの色だ！



梅干しづくり



夏野菜の苗植え



水やり



芋の苗植え

子どもが着る服、自分で選ぶと「自己肯定感アップ!?!」

毎日の何気ない「服選び」という行為に「教育効果」があることが注目されています。

「自分で考えて、自分で物事を決める」経験を重ねることによって、**自己決定力**が育つとのこと。同時に**自信**や**自己肯定感**も育つといえます。

◎はじめは一緒に考えながら

一緒に天気予報を見て「今日より気温が低いから長袖がいいかな?」「明日は外遊びをするから、スカートだと動きづらいいかな?」などと問いかけながら服を決めるまでのプロセスを見せましょう



◎子どもの意見を否定しない

子どもが「これが着たい」と主張したときには、たとえそれが真冬の半袖であろうと頭ごなしに否定するのはNGです。まずはなぜそれが着たいのか子どもの意見を聞きましょう。「なるほど」と受け入れてから「ママはこう思うな」と伝えます。こうすることで子どもは「パパとママと意見が違っていいんだ」「みんなと同じ意見じゃなくてもいいんだ」と安心し、考えることが楽しくなってくるのだそうです。

◎まだ選べない子には選択肢を作ってあげる

まだ上手に選べない子には、初めは親が選択肢を作ってあげると良いでしょう。色や柄だけ選ばせてもOKです。2択程度の小さな選択肢から始めて、だんだん選択肢を増やして行くのがオススメです。小さい頃から小さな選択を積み重ねることで、自然と判断力がつき、自分で決められる大人になれるそうです。

ポイント



上下柄物になってしまうと目からの情報が多くなり落ち着きません。選択肢の中に上手く無地の物を取り入れてくださいね。

……… お知らせ ………

- * 7月1日より水遊びが始まります。詳細はコドモン配信メールで再度ご確認ください。
- * 7月25日は7月分の保育料・給食費等の口座振替日となっております。前営業日までのご確認をおねがいします。